



ぶんぶんは今日も行く！

通信

No.5 2014年6月
発行 **はちみつ會**

ホームページ <http://hachimitsukai.jimdo.com/>
寄付金振込先：ゆうちょ銀行
ゆうちょ銀行から 00150-8-711082
他行から 〇一九支店 当座 0711082
いずれも口座名義：ハチミツカイ

5/3～6「福島親子・町田の森あそびツアー」第3弾

たくさんの温かいご協力、ありがとうございました！

皆さまに、3回目の「福島親子・町田の森あそびツアー」の報告をさせていただきます。

2013年にツアーを始めて、1年が経ちました。「福島子どもたちと一緒に遊ぼう」を目的に集まった仲間たちと、1年間、ほぼ毎週、ミーティングを重ねてきました。福島に行ってさまざまな立場の方からお話を伺ったり、町田市のイベントに参加して大人の文化祭体験を重ねたり、出会った方のご縁で講演会を開かせていただいたりしました。どれも、私たちには、貴重な体験であり、今後も胸に抱き続ける思いを形づくったものでもありました。

そして、普段の暮らしの中で感じていることも大切に、背伸びをしないで、ただ、集まった皆さまと一緒に過ごすこと。できれば、思いっきり楽しんで過ごすために、準備を重ね、このたびの5月の休日を迎えることができました。

参加して下さった皆さま、そして、お力やお気持ちをお寄せ下さった皆さまに、心より感謝いたします。どうもありがとうございました。

この報告書は、私たちにとって、感謝と楽しさやいろいろな気持ちが詰まった報告書です。お読みいただいてありがたいと同時に、ぜひ、皆様のお気持ち、お考えも聞かせていただけたらと思います。

みなさまからの「ぶんぶん通信」、お待ちしております。



はちみつ會

<2014GW「福島親子・町田の森遊びツアー」おもなスケジュール>

	5/3 (土)	5/4 (日)	5/5 (月)	5/6 (火)	
8時	福島→郡山で集合・乗車	朝ごはん	朝ごはん	朝ごはん	8時
9時	トイレ休憩 お昼ごはん (PA)	子どもは外あそび 大人は野外調理	子どもは外あそび	片づけ、荷物整理 子どもは外遊び	9時
10時		リフレクソロジー (福島 の大人)	整体 (福島の大人) イタリアンシェフの料理教室 (福島の大人)	チェックアウト	10時
11時			野外で昼ごはん	写真撮影 大地沢出発	11時
12時		太鼓であそぼう！	お昼ごはん		12時
13時	大地沢到着	おやつ	医師の牛山元美先生を囲んで健康のお話 (福島の大人)	トイレ休憩 お昼ごはん (PA)	13時
14時				郡山着	14時
15時			福島着	15時	
16時	子ども：外あそび	夕ごはん	夕ごはん		16時
17時	大人：オリエンテーション				17時
18時	夕ごはん	夕ごはん	キャンプファイヤー		18時
19時	お風呂	お風呂	花火大会		19時
20時		お風呂	お風呂		20時
21時	就寝	就寝	就寝		21時

お出迎え報告～ツアーはバスから始まっている…

今回で3回目になる「町田の森あそび」ツアー。みなさんに安心していただく目的で始まった、はちみつ会メンバーの現地お出迎え。

今回は、初参加の家族が3組。「何かあったら私が身体を張って守る!」「初参加の方にも和む声かけ」等々…いろいろ考えてはいるのですが、実際には、早く皆さんに会いたいただけなんです。「ウェルカムお菓子」に手作りクッキーを用意して、さあ、お出迎え!

7か月ぶりに会う皆さん。子どもたちは、とっても大きくなっている子もいる!ワイワイ挨拶しあって、福島駅からのバスは2番目の集合場所、郡山へ。

ところが!大渋滞。運転手さんお二人は、ほんとに親身に少しでも早くなるルートを探してくださり、30分遅れて郡山にようやく到着。全員揃った14家族、子ども28名、大人18名とその他3名が、いよいよ町田の森に向かいます。

車内の雰囲気の特長を3つ。①「にぎやかだった」。「ふなっしー」のDVDではなぜかにぎやかでした。トトロはまあまあ静か。②皆さんのお知恵をお借りして、プログラム参加者の決定じゃんけんをしましたが、「にぎやかだった」。③「早く遊びたい」と「にぎやかだった」。6時間半の長旅でしたので、後半は「まだなの?早く降りたい!」という声が…。そうですよね。ほんと、お疲れ様でした。

今回も参加者の皆さんと運転手さんに助けられ、無事に町田に到着しました。車内での楽しさも本当に素晴らしいものなのですが、やっぱり、バスの窓からボランティアさんとはちみつ会メンバーの笑顔を見るのは最高で、いつも泣きたくなります。それは、みなさんの笑顔が、「ほんとに待ってたよ!よく来てくれたね～」という気持ちでいっぱいだからなんだと思います。

さてさて地面に降りた子ども達は、さっそくオタマジャクシの池に、駆けていきました。



久しぶりだね!元気だったかな?!



今年もおたまじゃくし採りに夢中!

自然のなかで思いっきり遊んだよ!

今回は天気にも恵まれ、子どもたちも思い切り外で遊ぶことができました。鬼ごっこやドッジボール、工作とそれぞれが自由気ままに、自分たちの好きな遊びをすることができたと思います。

5月ということで、池には沢山のおたまじゃくしやサワガニも。昆虫網を取り合っているのが印象的でした。自然と触れ合うことで、多くの発見があったと思います。

また、大学生のボランティアも、子どもとの再会を喜びとともに、子ども以上に楽しんでいました。太鼓の体験やキャンプファイヤー、花火などのイベントも非常に盛り上がり、子ども、大人関係なく笑顔に溢れていました。

このツアーが回数を重ねるにつれ、子どもたちが大きくなり、子どもの成長って凄いなあと実感しています。次回

もまた一回り大きくなった子どもたちに会えることを楽しみにしています。

今日のごはんはなあ～に?

お出迎えの日の夕ご飯は、やっぱりみんな大好きカレーライス。2日目、3日目のお昼ご飯は、焼きそばと「ラ・リチェッタ」さん特製のスパゲティでした。

今回の献立は、小学校で調理師として働いていただきまして。のっぺい汁に、ほうれん草の磯

かあえ。意外に渋いメニューでしたけど、どうだったかな。

料理ボランティアさんたちも毎回頼れる存在で、「里芋の保存はこうなのよ」と教えて下さり、人と一緒に料理をする楽しさが、ご飯に絶妙なスパイスとして伝わったと思います。炊いたつむりの炊飯器のコンセントが抜けて、トホホ…なこともありました。

どの子にも1回は前に出て、「いただきます！」の挨拶をお願いしました。みんな毎回個性的で、いい感じ。「いただきます」って、いいですね、皆さまもたまには大きな声で「いただきます〜す！」はいかがですか。

そして最後になりましたが、たくさんの新鮮な果物とお野菜のご寄付をどうもありがとうございました。



声をそろえて「いただきます〜す！」

福島親御さんにリフレクソロジーを体験していただきました。



リフレクソロジーチーム「momyu-na」のお二人

ヘッドリンパトリートメントとリフレクソロジーの施術を、参加者に選んでいただく形で、計12名の方に行ないました。おひとり30分と短い時間の施術でしたが、束の間、子供たちと離れて、ご自分の体へ関心を向ける時間を持たれたことを、みなさん喜んでくださっていました。

アロマオイルの使用によりリラックス効果も高まり、会話のきっかけになったり、いい香りだと喜んでくださる方が多かったです。和室での施術だったので、よりゆったりとした雰囲気を感じました。

お1人ずつたくさんお話しすることはできませんでしたが、みなさんの素朴で朗らかなお人柄に触れ、こちらが癒される思いがしました。

今回は、貴重な機会を与えてくださり、ありがとうございました。子を持つ母としても考える機会をいただきました。

たし、施術者としてたくさんのお話を学ばせていただきました。今後もさまざまな機会や形で、共に考え共に歩む活動に取り組んでいけたらと思っています。

野外で焼きそばづくり！

2日目の昼食は、野外でつくることになりました。ボランティアの方たちに加え、福島のお父さん、お母さんも参加してくれました。メニューはスープ、焼きそば、フルーツです。

いくつかのグループに分かれ、お父さんたちには主に火起こしを、お母さんたちには食材の仕込みをしてもらいました。はじめはちゃんと出来るか心配でしたが、みなさんがすごく頑張ってくれたので、予定どおり完成しました。

そして子供たちを呼んで、みんなで楽しく食べました。やはり野外で自炊した食事は格別です。この日は天気もよく、新緑の木の下で、暑くもなく寒くもなく、絶好のコンディションではなかったかと思えます。



福島親御ボランティアで仲良くお料理中

参加した方から、お互い交流が深まってよかった、という声も聞きました。そういう声を聞くとすごく嬉しいのですが、終わってみて、かえって疲れさせてしまったのではないかと思います。遠くから来ている福島のお父さんお母さんには、ゆっくり休んでもらった方がよかったかなあと。この点については、今後検討の余地があるのではないかと思います、とにかくみなさん、本当にお疲れ様でした。

和太鼓チーム「町田ゆいまーる」さんが来たよ！

2日目の午後、和太鼓チーム「町田ゆいまーる」の皆さん総勢 20 名！が、大きな和太鼓をいくつも持って、このツアーのために駆けつけてくれました。ツアーの参加者も「何が始まるんだろう？」と興味津々。まずは、



元気に太鼓をたたいています！

ゆいまーるの皆さんの公演。大人も子どもも、障がいのある人もない人も、体いっぱい力で表現する姿が、力強い太鼓の音とともに心に響きました。その次は、みんないっしょに「ロックソーラン」に挑戦。速いテンポになかなかついていけません・・・が、子どもたちは覚えが早い！実際に子どもたちが和太鼓をたたいてみる時間もありました。ふだんから学校などでワークショップを実践されているということで、楽しいワークショップでした。

たくさんのお話を学んだ、お料理教室

5日のお昼ご飯は、座間のイタリアンレストラン「ラ・リチェッタ」のオーナーシェフ・稲垣さんをお迎えしてお料理教室でした。

当日は、鍋釜ご持参でオリジナル・レシピまで用意して下さったの本格的なもの！参加者は、福島のお母さん方ほとんど全員という盛況ぶり。最初はあまりの本格ぶりに少し緊張した雰囲気も漂う中、お料理教室のスタート。

まずは、イタリアンの基礎知識から徐々に、実作、試食という美味しく楽しい時間へ。その間に、さすがは主婦のみなさん、具体的な質問・疑問が飛び交い始め、最初の緊張感がどこへやら。次から次へと食材について、料理方法について、さらには毎日の食材への質問など、まだまだ時間が足りないようで、もっと聴きたいという方の要望もあり、シェフは午後まで残り、さらなる質問タイムは続いたのでした。

ランチはもちろん、シェフお手製のパスタの数々。あまりに美味しく、おかわりをする人がひきもきらず、80人で120食分を食べてしまいました。

心とおなかと知識とが満たされた時間を、ご一緒に過ごすことができ、至福のときでした。



シェフの話に聞き入るお母さんたち

牛山先生のお話の健康相談会

福島の親子・町田の森遊びツアー 2日目の午後、約2時間にわたり、相模原の病院に勤務する牛山元美先生のお話を聴く会が開かれ、福島のお母さん方と同席させていただきました。

先生が用意して下さった資料を見ながら、放射線による身体への影響、日常の受診の際のCTやレントゲン検査による影響、今後の相談について等のお話をいただきました。また、継続して食材の放射線測定をしている町田のイタリアンレストランラ・リチェッタのシェフの方からも、食に関する様々な情報をいただきました。

ご家族の健康を支えるお母さん方が、お子さんたちが、なぜこのような状況を強いられなければならないのか…東京に暮らす私たちは、事故の当事者であることを決して忘れてはならないとの思いをあらためて強くなりました。

新緑の山をハイキング

新緑の美しい大地沢の山を、短い時間でしたが、子どもたち、ボランティアさんと楽しく歩くことができました。

急坂を登り終えて、子どもたちも疲れているだろうと思い、休もうとすると「もっと行こうよ！」と子どもたちの元気な声が山に響いています。大人たちが、子どもたちの足の速さに追いつくのが大変な場面もありました。

頂上では、みんなで草を摘んで草笛の練習をしたり、どんぐりの実を拾ったり。みんな思い思いにのんびり過ごしました。できればもう少し出発を早くして、もう少し長い距離を歩いてよかったかなあとと思います。

とにかく、無事に終わってほっとしています。支えてくださったボランティアさん、本当にありがとうございました。



足元をしっかりと見て、みんなで登るよ〜

念願のキャンプファイヤー！～歌やゲームで楽しい時間を過ごしました(^^♪

昨年の秋のツアーでは、台風のために、室内でキャンドルファイヤーを行ないました。今回もお天気の心配が若干あったものの、なんとか空も持ちこたえてくれて、無事にキャンプファイヤーを行なうことができました。

日中のうちには何人かの子どもたちにお手伝いを頼み、キャンプファイヤーの木を組んでもらいました。自分たちで準備をすることで、子どもたちの中にも、夜に向けてのワクワク感が高まったのではないかと思います。

夜になって、待ちかねたキャンプファイヤー本番。素敵なフルートの音色に合わせて、トーチを持った子どもたちが入場してきました。みんなでそろって組み木に着火し、いよいよキャンプファイヤー開始です。みんなで歌を歌ったりゲームをしたり、大人も子どもも笑顔いっぱい楽しい時間を過ごしました。

キャンプファイヤー中にみんなで歌をうたっていると、大きな犬の着ぐるみ「ビーくん」が突然乱入してきたり、ディズニーの「アナと雪の女王」の「Let it go」は子どもたちが大合唱したりして、大盛り上がりの時間が過ぎていきました。

歌やゲームの後は、キャンプファイヤーの残り火でマシュマロタイム。トロトロのマシュマロを楽しんだ後は、花火大会。最後の夜に、楽しい楽しい思い出を作ることが出来ました。

参加者の方と素敵な夜の時間を過ごすことができ、準備や進行を担当した身としても、非常にやりがいを感じました。次回の保養でも、皆さんと楽しい時間を過ごすことができたいと思います。

はちみつ會のマスコット、BEE(ビー)くんです



* 福島の親御さんからのメッセージ *

天気にもめぐまれ、外でたくさん遊ぶことができてありがとうございました。ボランティアの方が、子どもたちに目配りをしてくれて、たくさんのいい空気を吸い、何の気兼ねもなく走り回ることができました。

大地沢青少年センターがとても気に入りました。自然の中で、焼きそばをみんなで作ったり、太鼓の演奏を聴いたり、よさこいを踊ったり。子どもたちは満足いくまで外遊びさせてもらいました。

子どものイベントだけでなく大人も楽しめるイベントがたくさんあって、心も体もデトックスできました。参加者みんなで作る焼きそばも仲良くなれる機会だったし、料理教室も牛山先生とのお話も、悩みを話せる場所だったし、すべて最高でした。

太鼓の方々の演奏がすばらしく、感動しました。みなさんいきいきとされていて元気をもらいました。歌やおどりも楽しく、ノリノリで楽しみました。

福島では山の中の自然に囲まれて遊ぶことは、いくら除染がすすんでいるとはいえ、やっぱり不安がいっぱいで、一步踏み出す勇気がなく、家に閉じこもってばかりです。本当にこのツアーでは、子ども本来の姿があり、子どもたちも「これさわってもイイ?」と聞くことなく遊んでくれてうれしかったです。

かえる先生のプロジェクター上映会、とてもうれしかったです。すごくキラキラの笑顔で感動しました(泣)。

*** 福島の親御さんたちに、「福島の暮らしていて、いま思うこと」を書いていただきました。**

3.11 から3年たち、周りの“今までどおりの生活”の雰囲気流されてしまっていたことに気づきました。昨年の冬ごろから周りの人に気づかれぬように放射能対策をすることに疲れてきてしまったこともあり、「大丈夫だ」と思ったほうが楽だったので、週末避難や情報のアンテナを張ることを休んでしまっていました。ラ・リチェッタのシェフや牛山先生の話聞いて、まだまだ勉強不足だと心底感じました。



子どもたちも近所で走り回る時間が増えてきましたが、まだ家の周りは除染が終わっていません。注意をしないと、土いじりをしようとしていたりして…子どもたちには、土いじりが必要なのにできず…悲しい現実が続いています。

何も気にせず生活したいと思う時があります。たとえば、食品の産地など何も気にせずに目で見て新鮮な物を選びたいな…とか。時々、疲れたなと思う時があります。前みたいには戻れないのかな…

福島での外遊びはまだまだできません。そのためなのか、ゲームばかりやっているようです。今回も初日はゲームばかりしていましたが、ボランティアの方のおかげで、2日目から外で遊ぶようになり安心しました。

放射能に対する考え方に格差があって、話をできる環境があまりないのも現実です。子どもの友達の親と意見が違えば、保養にも誘うこともできません。福島で暮らしていくしかない→保養しながら子育てをして

ゆく決心をしましたが、今後どうなるかは不安です…健康被害が出ないことを願う日々です。

#やはり避難を考えることでも、家族が一緒にいることを優先してしまう。子どもが大きくなった時のこと、不安です。少しでもはちみつ會のような団体が増えてくれて、みんなで真剣に考えたい。

ボランティアのみなさんの感想

#今回はじめてボランティア活動に参加しましたが、小さい子どもたちが喜んでる姿を見てると、こっちまでうれしくなった。またこういう活動があれば、積極的に取り組んでいきたいと思います。

#2回目の参加でしたが、前回から参加している子たちもたくさんいて、覚えてもらっていたことに驚きました。次に会えるのはいつだろうと、ずっと楽しみにしたツアーなので、参加できて本当に良かったです。



#お父さん、お母さんの、子どもを見る姿もとても素敵で、温かい気持ちになりました。たくさん笑顔を見られたことが、何より良かったなって思いました。

#食事のときには子どもたちだけではなく、保護者の皆さまとも交流でき、とても充実していました。最後にはキャンプファイヤーをして、よりみんなと絆が深まりました。

#好天に恵まれ、青空の下の調理、楽しかったです。

#一年ぶりに参加でき、私自身もとても楽しい時間でした。先がなんとも見えづらいことでもあり、このような取組みは、これからも長く続けていく価値があると強く思います。

*今回はじめて、ボランティアとしてお子さん2人と参加してくださったKさんに、感想を寄せていただきました。

はちみつ會主催の大地沢キャンプに、イチニチと半分くらい、子ども二人と、初めて参加させていただきました。短い時間でしたが、子どもたちは遊び疲れて、ぐったりと眠っています。

言葉がうまいこと見付からないのですが、また参加しよう。と思いました。今回は初参加なのだし、純粋に楽しめたらそれが一番だったのかなと、思うんです。私はちょっと緊張もしたのか、純粋でもないせいか…上手くはできなかつたんですが、他のみなさん、特に子どもさんたちの楽しそうな顔を見られて、嬉しかったです。

福島の方のことを考えていると、放射能のことを考えることにつながってきて、原発のこと、エネルギーのことを考えるようになり、すると、地球を汚さないほうがいいなと考えるようになり、土や、食べ物や、農薬や、いろいろいろいろと…、思いが広がっていきます。勉強したいことが、たくさんあるなあ、と、思います。

はちみつ會のキャンプでは、食べ物をとても大切に考えていらっしやるのが伝わって来ました。ごはんが、おいしかったです。ほっとする味でした。

うちの子どもたちにも、遊ぶのはもちろん、回を重ねるごとに、それぞれで何かしら感じ取れることがあったらいいなあ、と、思います。すごく、表面から覗かせてもらったような今回でしたが、少しずつ、進んでみたいな、深くにも、いずれか行ってみたいな、そう思えたことが、今回一番の収穫でした。



Illustration by yuiko

2014年5月3～6日「福島親子・町田の森あそびツアー第2弾」にご協力いただいた皆様

*後援 町田市 *協力(順不同) ラ・リチェッタ、整体処りら福、カラダノミカタ、かあちゃんず、momyu-na、福島こども支援・八王子、町田市福島県人一心の会、きつねはらっぱ冒険遊び、学生ボランティア団体 あおぞら、生活クラブ運動グループ町田市地域協議会、ヘルパーステーションぶらんこ、三ツ又冒険遊び場たぬき山

その他、多くの皆さまのご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

ご協力いただいた皆さまへ——御礼と次回のご案内

皆さまのご協力により、おかげさまで、福島の子「町田の森あそびツアー」第3弾を無事に終えることができました。ご支援いただいた皆さまに、あらためて御礼申し上げます。

今回も、募集開始から30分ほどで定員に達し、キャンセル待ちが出ることとなりました。

キャンプ初日、長い時間バスに揺られて町田の大地沢へ到着するなり、子どもたちは遊びたい気持ちを爆発させるように、走って遊びはじめました。晴天にも恵まれ、3泊4日のツアーの間、子どもたちは、とても楽しそうにのびのびと過ごしておりました。

今年3月11日の「ニュースステーション」の特集では、福島の子も33人が、甲状腺がんの手術を終えたことが報道されました。今回のツアー終了後の5月19日、甲状腺がんが診断が確定した子どもは50人（「疑い」を含めると89人）になったことが発表されました。

甲状腺がんは、震災前は100万人に一人と言われ、チェルノブイリでは事故の4年後から増加したと言われています。それに対して、福島は37万人に50人。その理由はさまざまに語られていますが、実際のところ、現在の事態はだれも経験がないことであり、“わからない”ことなのです。このような状況の中で、福島の子は「いつ我が子が…」という不安の中で暮らしています。

もともとの福島には存在しなかった汚染が、確実にあります。ツアー参加者の方からは、「ガラスバッジを外より線量の低い玄関に置いておいたのに年間被曝量が1mSvを超えている」、「風評被害」という言葉を聞くが、実際に汚染があるのに「風評被害」という言葉で誤魔化さないで欲しい。このままでは私たちが受けている被ばくは忘れ去られ、なかったことにされてしまう」、「福島では“放射能”の話すらできない空気となっていて、誰とも相談できない。このキャンプへ来れば安心して話せる」というお話もありました。

今回、福島の子向けに、料理教室というかたちで、食材などの汚染状況を知る機会を設けさせていただきました。参加希望者を募ったところ、福島のお母さん全員の参加となりました。質問コーナーでは、次から次へと質問が相次ぎ、予定の時間を超えてしまうほどでした。アンケートには「福島では知る機会がないので、このキャンプで知ることができて良かった」とありました。

今まで私たちは、福島ではできないことを提供し、リフレッシュできる環境作りを考えてきました。今回、「知りたいことを知ることのできる環境」をつくっていくことが求められていると実感しました。

キャンプ終盤、大人だけで、キャンプ中に撮った写真をスライドで観る機会がありました。何人かの親御さんが、涙を流されていました。あるお母さんが言いました「うちの子がこんなにいい笑顔をするなんて…震災以降、こんな笑顔を見たことがないんです」その言葉に、スタッフも胸が締め付けられる思いでした。

さまざまな不安の中でも、故郷を離れられない理由がそれぞれにあります。私たちは、保養ツアーは今後も必要とされる活動であり、長く続けていくことが大切だと思っております。

次回のツアーは11月22～24日を予定しています。今後とも、皆さまのお力添えをどうぞよろしくお願いいたします。

はちみつ會 代表 横山正浩

<次回の「町田の森あそび」ツアーのご案内>

2014年11月22日(土)～24日(月)

からりとした気候のなか、体を動かすのにちょうどよい季節です。

皆様のご参加・ご協力をお待ちしています。



<皆さまへお願い>

下記のご協力を頂ける方を募集しています

- ・展示スペースを提供いただける方
- ・印刷関連のご協力をいただける方
- ・デザイン・レイアウトができる方
- ・はちみつ會の活動に賛同する方や団体をご紹介いただける方、地域・公共機関・企業への協力の呼びかけを手伝っていただける方
- その他、皆さまの知恵と力、お貸してください！

[問合せ・申込先] TEL080-8898-7860 (やぎ) E-mail hachimitsukai@yahoo.co.jp